

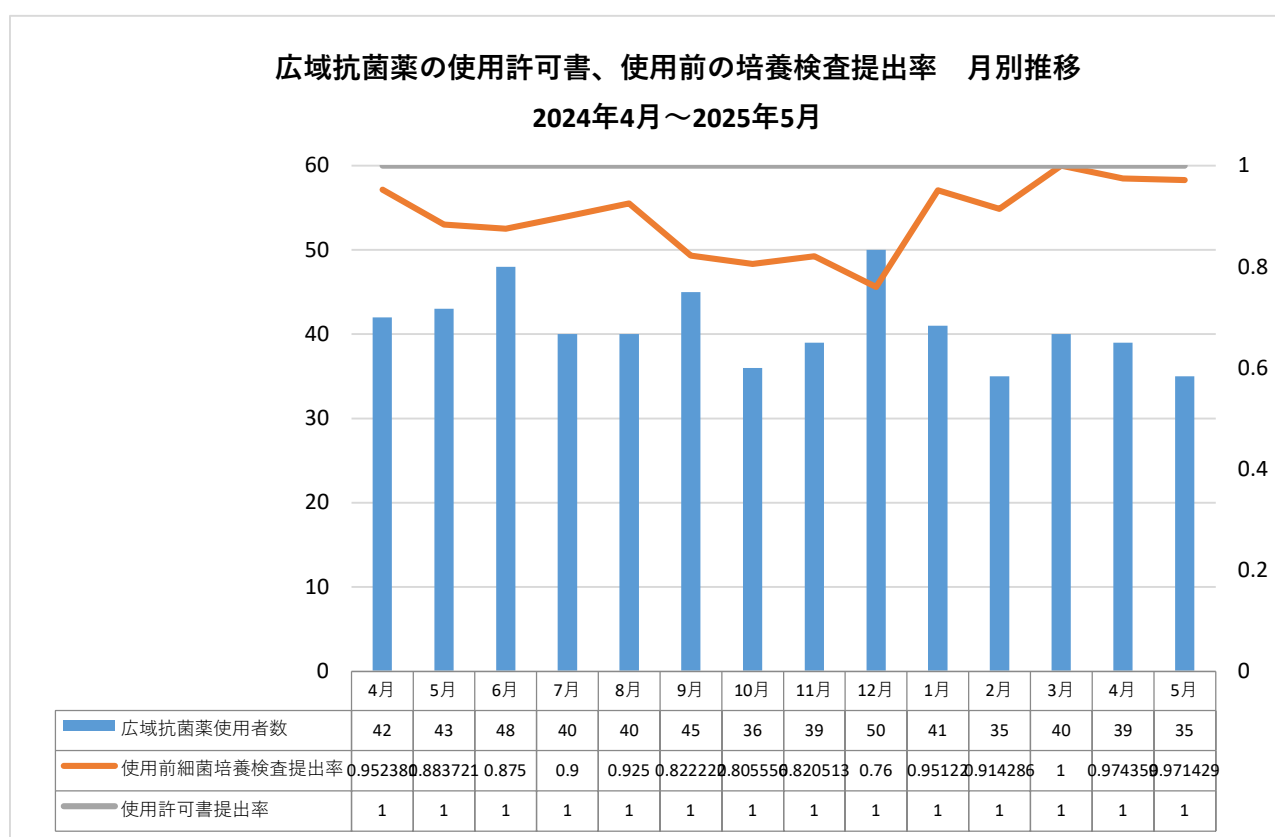
広域抗菌薬使用時の培養検査実施率

指標の意義

感染症に罹患した際は、速やかに病原体を特定するための培養検査を提出し、その結果によって治療に効果的な抗菌薬を選択する必要がある。培養検査を実施せずに、むやみに広域抗菌薬を使用すると耐性菌の蔓延や細菌の耐性化を助長する可能性がある。本指標は抗菌薬の適正使用を評価する指標となる。

算出方法

広域抗菌薬使用前に培養検査を提出した患者 ÷ 広域抗菌薬を使用した患者 × 100



解説

2024年 6月頃より、当院が採用してる血液培養検査キットが 世界的に供給不足となり、血液培養検査を実施数が減少した。それに伴い広域抗菌薬を使用する前の培養検査提出率も低下したが、12月頃より 供給量が増加し、培養検査提出率も上昇した。